上川町　シェッド個別施設計画

令和7年11月（適宜変更）

北海道上川町　建設水道課

1. 個別施設計画の目的

上川町管理のシェッドを良好な管理の下に末永く利用していくためには、定期点検等により現状を正確に把握し、これまでの事後保全から予防保全へ転換を図ることにより、道路ネットワークの安全性・信頼性を向上させるとともに、修繕に要する費用の縮減を図ることが重要です。
また、これらをより効率的・具体的に実施していくため、個別施設計画を策定するものである。

2. 個別施設計画の対象シェッド

		1級町道	2級町道	その他	合計
全管理シェッド数				3	3
	策定計画対象シェッド			1	1

※天城岩覆道と天柱峰覆道については、落石の危険があるため通行止めとしている。
（点検の実施も困難）
廃道の検討中

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1）健全度の把握の基本的な方針
5年に1回の法定点検及び日常のパトロール等により、損傷の把握を適切に行い記録する。

2）日常的な維持管理に関する基本的な方針
法定点検や日常のパトロールを適切に実施し、シェッドを良好な状態に保つことに努める。

4. 対象シェッドの長寿命化及び修繕・架替えに関する費用縮減に関する基本的な方針

点検等により把握した損傷に対して、劣化が進行し修繕費用が増大しないよう補修を実施することで、ライフサイクルコストの縮減を図る。
詳細点検結果に基づく健全度把握及び損傷状況に応じてシェッド個別施設計画を見直す。

5. 対象シェッドの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期または更新時期

別紙による。

6. 個別施設計画を策定したことによる効果

	修繕計画と評価	
路線の位置付け	当該路線は大雪山黒岳山麓に位置し、日本の滝百選に選定されている「流星の滝・銀河の滝」を真近に眺める事ができ、大型駐車場およびレストハウスが整備されている。また北海道有数の規模を誇る層雲峡温泉からも近く、多くの観光客が訪れ、上川町の重要な観光アクセス路線となっている。	
修繕内容	1）修繕箇所　a）層雲峡覆道　目地部（02,03,04ブロック）漏水箇所 2）修繕内容　a）漏水対策（目地取替）：　10m（01,02ブロック） b）漏水対策（目地取替）：　10m（02,03ブロック） C）漏水対策（目地取替）：　10m（03,04ブロック） 3）修繕費　￥ 2,500,000円（税抜き）	
	修繕実施の場合	**修繕未実施の場合**
損傷部位の状況	健全度の回復	健全度の低下 応急箇所の劣化が進行し修繕範囲が拡大
コスト	最小限（コスト縮減効果） 2，500，000円	修繕範囲拡大に伴うコスト上昇 （ 2，500，000円＜未実施の場合 ）
第三者被害	第三者被害の回避	第三者被害発生の恐れ （通行車両および通行人に対して）

7. 今後の取り組み

維持管理の更なる高度化、効率化を目指して、以下の取り組みを行う。

1） 新技術等の活用、費用縮減

・ 管理するシェッドで新技術の活用を目指す。
新技術の活用を1基のシェッドで検討し、令和11年度までの4年間で約1百万円のコスト縮減を目指す。
・ 修繕工事においても、設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト縮減を目指す。

2） 集約化・撤去

通行止め区間にある2つのシェッドについては、令和10年度までに廃道に向け、環境省・林野庁との協議を進め約50万円のコスト縮減を目指す。

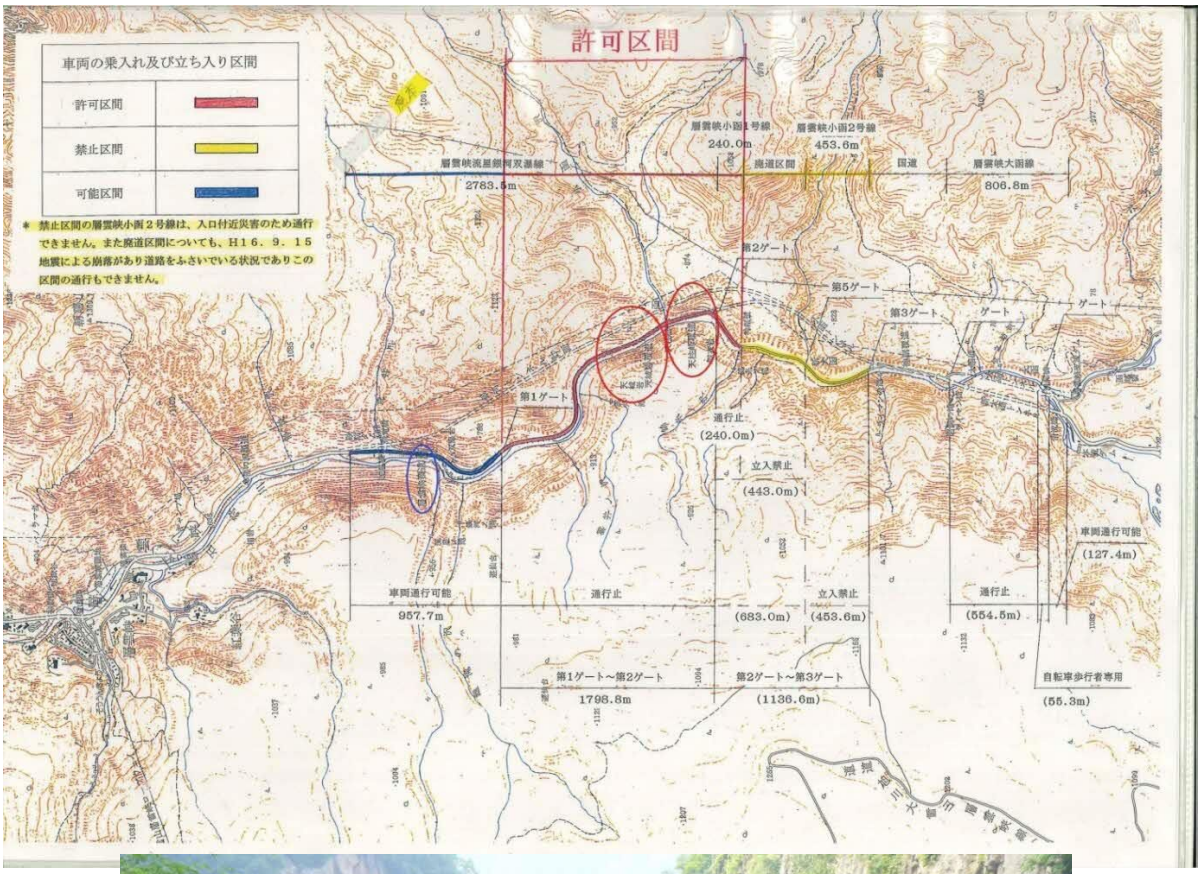
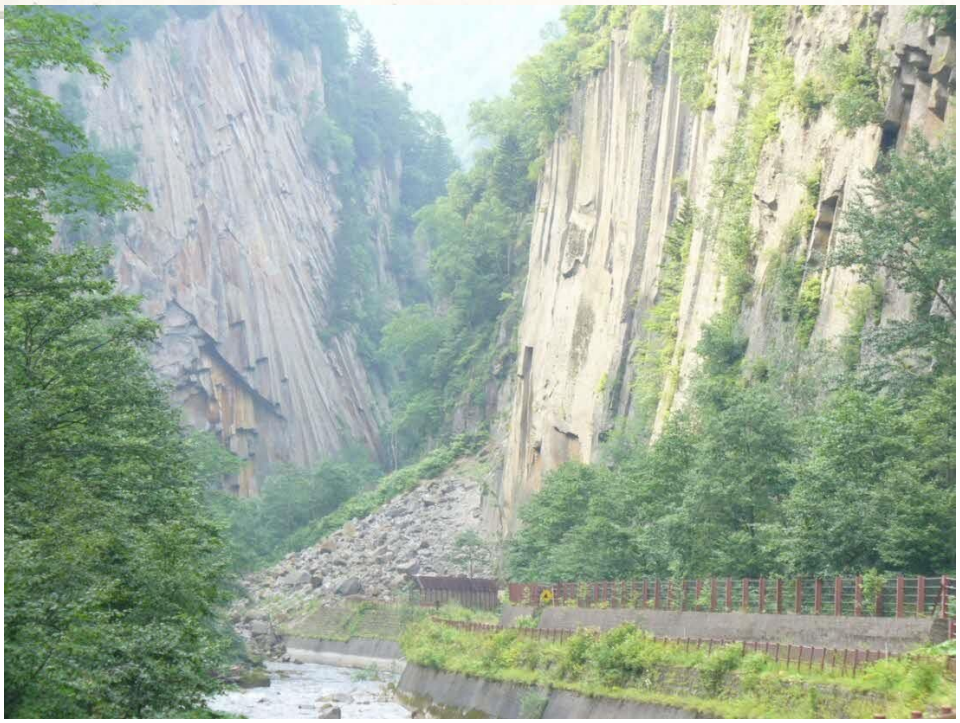
8. 計画策定担当部署

北海道上川町役場建設水道課技術グループ　Tel 01658－2－4060（直通）

対象施設ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は更新時期

凡例：<----->対策を実施すべき期間を示す

施設名	道路種別	路線名	所在地	施設延長 (m)	施設幅員 (m)	架設年度	供用年度	最新点検年次	修繕計画	対策の内容・時期									
										2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
層雲峡覆道 点検結果：Ⅲ 維持管理区分：B	その他	層雲峡流星銀河双爆線	層雲峡	86 4スパン	10.75	1972	48	2020	対策内容		<-----> 漏水対策			点検					点検

通行止め区間は、国立公園内であり、廃道するにも更地に戻さなければならないため費用が莫大にかかり困難な状況です。

点検するとしても、別添の写真のような状況のため危険であるため保留にしております。